

開校準備委員会だより 第13号

7月21日に開催された第11回開校準備委員会、8月22日に開催された第12回開校準備委員会では、校歌・校章の検討を行いました。また、通学路の安全対策について事務局から報告がありました。

校歌・校章の制作、進行中です！

校歌・校章ともに、皆様にご協力いただいたアンケートの結果を制作者にお渡しして、ひびきの小学校の子どもたちの成長や未来を願う気持ちを込め、ひびきの校区の風景等を表現した校歌・校章を制作していただいています。今回はそれぞれの制作状況をお知らせいたします。

校歌について

制作者の富永裕輔さんから、校歌の案をご提案いただきました。歌詞には皆様のアンケートでご回答いただいた「歌詞に使用したい言葉」がたくさん使われています。

歌っていると元気が出るような明るい曲調で、委員からは「子どもたちが歌っているのを早く聴いてみたい」との声もありました。完成を楽しみにお待ちしております。



校章について

北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科の学生たち(大学院生も含む)にご協力をいただき、皆様のアンケートの結果も踏まえた32案の校章案をご提案いただきました。いずれの案も、ひびきの小学校の子どもたちへの願いが込められ、ひびきの校区の特徴が活かされています。

第11回会議で一次選考を行い、**中面**に掲載している7案に絞りました。第12回会議でデザインした学生たちからデザインの意図やコンセプトの説明を受け、最終選考の準備を進めています。



通学路の安全対策について

ひびきの小学校の通学路の安全対策について、関係機関に要望した結果をお知らせいたします。
(要望の内容は開校準備委員会だより第10号をご参照ください。)

※下記の対応状況は本年5月時点のものです。

① 信号機の設置(5箇所)	最重点要望としていたひびきの北公園前などの2箇所は、検討中。その他、既に横断歩道がある交差点への信号機の設置、点滅式信号機の設置については、現在のところ対応予定はありません。
② 横断歩道のある交差点の改良(6箇所)	ナフコ前のひびきの南一丁目交差点は、右折レーンのカラー舗装等の対応済。また、横断歩道の再塗装は1箇所対応済、1箇所対応予定。注意喚起看板の設置については、1箇所は検討中ですが、その他の箇所は設置により視認性を損なう恐れがあるため対応予定はありません。
③ 交差点における車両への注意喚起(23箇所)	これまで安全対策が特になかった交差点については、新たにドットラインが設置済、または設置予定とされています。また、数箇所の交差点で区画線や「止まれ」の路面表示が設置されました。
④ ゾーン30の設置	幹線道路に囲まれているエリアに絞って、自治会等から再要望があれば検討するとのことです。
⑤ 柵の再整備	柵の内側が複合商業施設の建設予定地になりました。現在、同施設前の通学路における安全対策を開発事業者へ要望しています。
⑥ 道路橋梁の欄干への転落防止柵の設置	国の設置基準である高さ1.1mを満たしており、転落防止柵の設置の予定はありません。 ※ 第40区自治区会とひびきの小学校PTA準備委員会から、別途要望書を提出しました。
⑦ 大学施設への車両出入口における車両との接触防止対策	検討中です。
⑧ 通学路への車両の進入防止対策	設置を予定しています。
⑨ 歩道を走行または駐車する車両との接触防止対策	車止め8基が設置されました。
⑩ 車用ガードレールの設置(通学区域内全体)	車道と歩道の境に段差をつけることにより、車両が歩道へ乗り入れにくい構造になっています。また、他校区に比べて見通しの良い直線道路が多く、歩道幅も広いため対応予定はありません。
⑪ 明るい街灯への交換(通学区域内全体)	地域と協議の上、計画的にLED化を進める予定です。

【次の開催について(予定)】

次の開校準備委員会も、引き続き校歌・校章について協議します。日程：平成28年9月末～10月

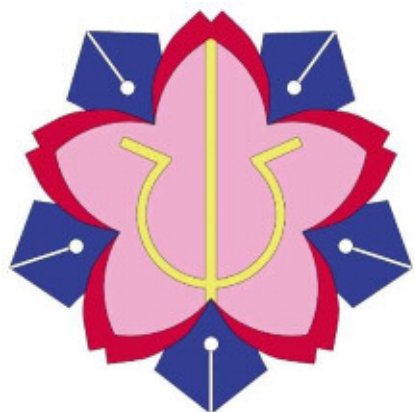
【ご意見・お問い合わせ先】

教育委員会企画調整課 Tel 582-2357 または、光貞小学校、高須小学校



挨拶は、全ての始まりである。挨拶を交わし、友達になる一瞬を描いた校章である。「ひ」という文字の内にあるグラデーションは子供の話しがしたい・友達になりたい・下の名前を呼んでいいかな・目が合った！その一瞬の感情から徐々に花が咲きだす様子を動的に表現したデザインである。お互いの繋がりと相手を丁寧に扱う心は、この世界を知る探索の始まりです！

北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科1年生
Liu Daiwei (リウ ダイイ)



デザインコンセプトは学術と桜です。新しくできる彩りの街ひびきの(住宅地)には川沿いに桜並木通りを作る計画があります。また、学研都市という学研都市ひびきのという特別な場所に位置するので、学業を表す万年筆をデザインに取り入れました。また、真ん中のラインでデザインに軸を持たせ、安定したデザインとしました。彩り豊かな自然のなかで学業に打ち込み、しっかりとした芯のある人間に育って欲しいとの思いを込めています。

北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科1年生
出端 彩乃



デザインコンセプトは自然です。ひびきのに居て感じることは鳥を近くで感じられるほど自然が豊かで、いつも風を感じることができます。空を見上げていて浮かんできたものをシンボルマークとしました。また、カラーはひびきのをイメージしたものとなっています。

北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科1年生
出端 彩乃



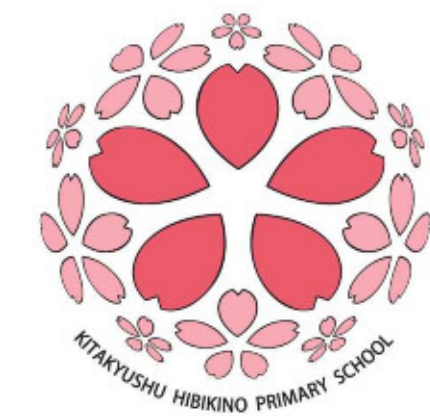
ひびきのは、毎年春に強い風が吹きます。ひびきの小学校に通う児童たちが、この風のようにたくましさを持ち、強く明るく元気な子供であってほしいと願い込め、風をモチーフに作成しました。また、三角形の部分はひびきのの自然豊かな丘をイメージしています。

北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科2年生
中島 ゆき



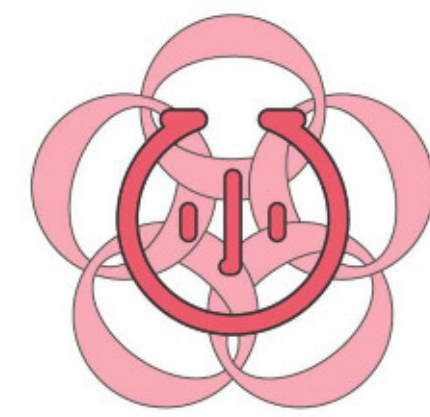
色と造形がこの学研都市が経ていく時間とともに『ひびきの小学校』の要素となっていくデザイン。灰色の円は「学研都市の関連施設」を表し、濃い水色の円は「羽ばたく空」を表している。それらが重なり、1つの輪となって交じり合う。薄い水色の桜の花びらは「子どもたち」を表すが、まだ空と一体となるほど成熟してはいない。ただ、空へと「羽ばたこう 羽ばたこう」とする気持ちが少しだけ故郷から顔を出している。

北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科2年生
東條 裕太郎



サクラの花は、児童を表しています。それぞれの花が咲き誇る様子をこれから出会う様々な物事に興味を持ち、知識や経験を吸収することで、元気に成長する児童の未来の姿と重ね合わせました。花は大きなものから順に、児童、先生と保護者、小学校の地域に住む方々を表しています。全体として「球」と「円」を感じるデザインとしており、児童や地域全体の調和や絆を表現しました。

北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科2年生
西田 紘文



音楽記号の全音符(外周5つの輪)をモチーフに、全音符が繋がることで、絆や児童の声が響くこと、調和、市章を表しています。全音符は原点に通じ、小学校が児童の原点であることを示しています。「ひ」と矢印を合わせ矢印が全音符をまとめたデザインは、協力、団結を表しています。「ひ」と「小」を合わせた顔の頭頂部は開いており、出会う物事に興味を持ち、知識や経験を吸収できることを表現しています。

北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科2年生
西田 紘文

この7案が校章の一次選考を通過しています。

このなかから1案を選んで、ひびきの小学校の校章とします。

※最終案には必要な調整をしますので、
デザインが多少変わることがあります。

